

数字はウソをつかない

福島 かずえ 県議会議員



予算議会に向けて、1月から2月にかけて、岩手県や兵庫県、新潟県を訪問し、それぞれの復興状況や進行管理、検証のあり方、住民参加の保障、県と市町村の連携、住民自治のあり方などを学んできました。

岩手県では、復興計画の進行管理のための復興会議が存続し、被災住民の声が事業に同時並行で反映される仕組みをつくり、被災者や市町村のために県がキチンと役割を果たしていました。

兵庫県では22年経っても、課題はなくなり、災害公営住宅の孤独死も増えています。こうした現実に向き合い、県も復興計画の

フォローアップを重ねており、住民運動も盛んです。

新潟県でも、中越地震や原発事故の教訓をいかし、新しい知事の下で、「中央が潤うために地方が負担やリスクを負う」という、中央と地方の不平等な関係」を根源から問い直し、新しい社会のあり方を模索する試みが進んでいます。

住宅再建策に復興基金をたった1%しかつかっていないことや生活福祉資金の借りにくい実態を数字で示して知事に改善を迫り、手ごたえを感じました。調査活動の重要性を改めて感じた2月議会でした。

2月定例県議会(第359回)を終えて

2月17日に開会した2月定例議会が、3月16日に閉会しました。

本議会は、安倍政権の暴走政治と国民との間の矛盾が深化するもと、また震災から6年目を迎える中で開かれました。

党県議団は、暴走政治ストップ、「富県戦略」と「創造的復興」で被災者・県民を置き去りにする村井県政の諸問題を明らかにし、積極的に論戦しました。

1、議案の賛否について

今議会には、138の議案が提出されました。党県議団は、予算議案や蒲生干潟にかかる七北田川の河川堤防、雄勝の防潮堤2件など全部で29議案に反対をしました。

2、意見書・

請願等について

(1) 意見書について

①指定給水装置工事事業者への更新制の導入等を求める意見書②無料公衆無線LAN(Wi-Fi) 環境の整備促進を求める意見書③今後の通

商交渉に関する意見書④政治分野への男女共同参画を推進するための法整備を求める意見書⑤性犯罪等被害者を支援するワンストップ支援センターの設置等を求める意見書

⑥高齢者も若者も安心できる年金制度の実現を求める意見書⑦復旧・復興事業の総仕上げのための人材確保を求める意と見書の、7本の意見書が本会議に提案され、全会一致で可決されました。党県議団は、③と⑦を提案しました。

(2) 請願について

「被災者に医療・介護の負担免除継続を求める請願」が本会議にかかり、わが党県議団とみやぎ県民の声が賛成討論をしました。この請願には、わが党議員団とみやぎ県民の声、社民党県議団、無所属の会の22名が賛成しましたが、自民・公明などの反対多数で不採択となりました。

(3) その他

閉会日に「北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議案」を全会一致で採択しました。

所属する常任委員会・特別委員会



大内 真理 (宮城野区)
・保健福祉委員会
・地域防災調査特別委員会



角野 達也 (太白区)
・文教警察委員会
・地域活力調査特別委員会



内藤 隆司 (大崎市区)
・建設企業委員会
・地域防災調査特別委員会



中嶋 廉 (泉区)
・環境生活農林水産委員会
・大震災復興調査特別委員会



福島かずえ (若林区)
・経済商工観光委員会
・大震災復興調査特別委員会



天下みゆき (塩釜市区)
・保健福祉委員会副委員長
・いじめ・不登校等調査特別委員会



三浦 一敏 (石巻・牡鹿区)
・建設企業委員会副委員長
・総合観光戦略調査特別委員会



遠藤いく子 (青葉区)
・総務企画委員会
・地域活力調査特別委員会